



# 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると  
感電を蒙る可能性または物の破損が発生する可能性があります。

- 接触禁止** 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→火災・感電の原因になります。
- 水濡れ禁止** この器具は非防水です。湿気が多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。
- 禁止** 周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
- 器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
- 使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。



必ず

表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。

照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→故障する、火災・感電・故障の原因になります。

照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

## ■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AIH55002・AI55006・AI50130・AI50141 AH55003・AH55007	AC100V	0.45A	44.5W	LED
AH55004・AH55008・AH50138・AH50142		0.39A	39.6W	
AH55005・AH55009・AH50140・AH50143		0.34A	33.6W	
		0.29A	29.7W	

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。  
※長時間使用しない場合、主スイッチをOFFにしてください。

## ■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

### 1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に取られているかを確認する。

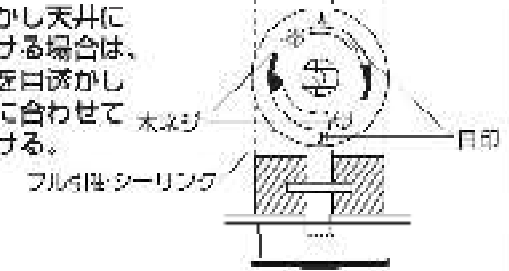


### 2 配線器具がついていない場合

付属のフル引込シーリングをスネジで天井に確実に取付ける。



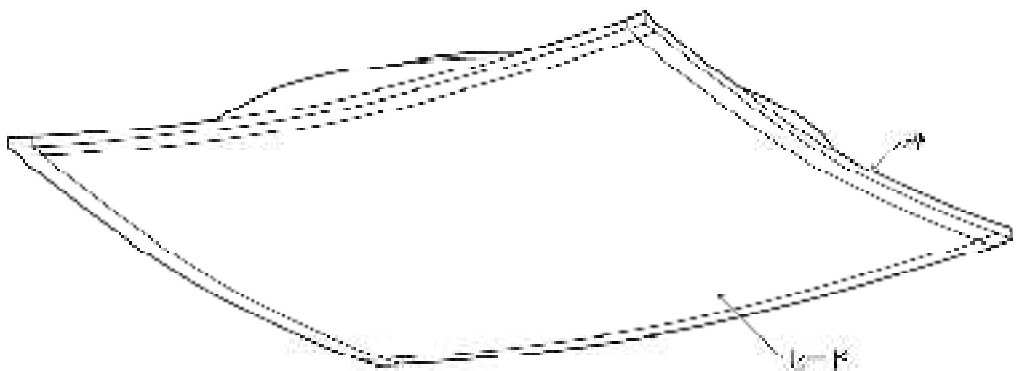
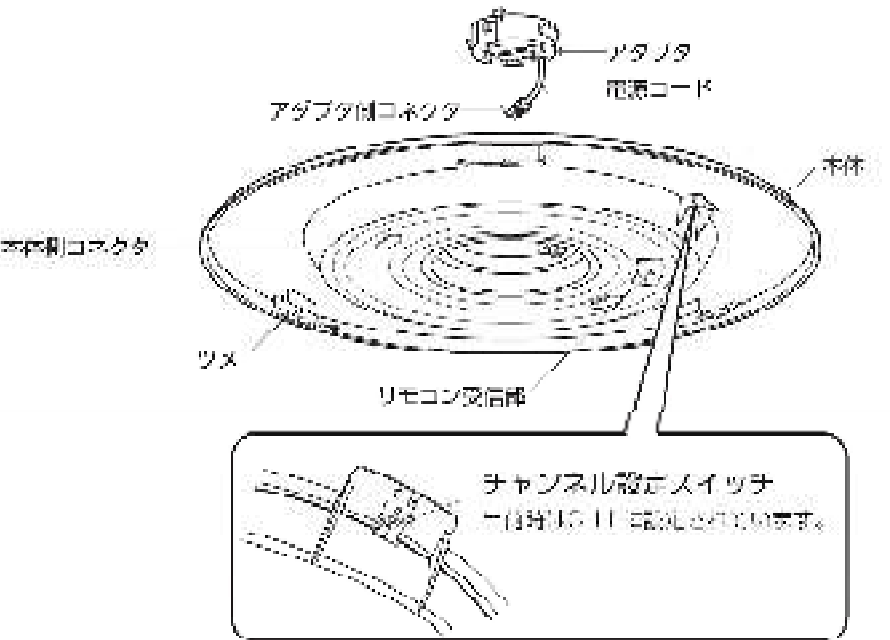
※白透かし天井に取付ける場合は、白印を白透かし方向に合わせて取付ける。



※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

## ■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部省略した共通部品図です。  
※部品の名称・仕様を注意し、不備の際は取付けしないでください。



### 〈付属部品〉

- フル引込シーリング・・・1個
- スネジ・・・・・・・・・・・・・2本

### 〈リモコン送信機一式〉

- リモコン送信機・・・1個
- ホルダー・・・・・・・・・・・・・1個
- 取付用ホネシ・・・・・・・・・・・・・2本
- 単3形電池・・・・・・・・・・・・・2本

## 1 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引込み口(本体)を、配線器具にはめ込み、「カチッ」と音がするまで右に回す。

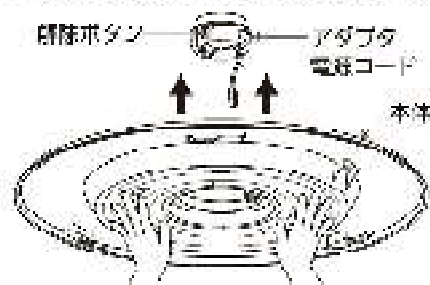
- △警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



## 2 本体を取付ける

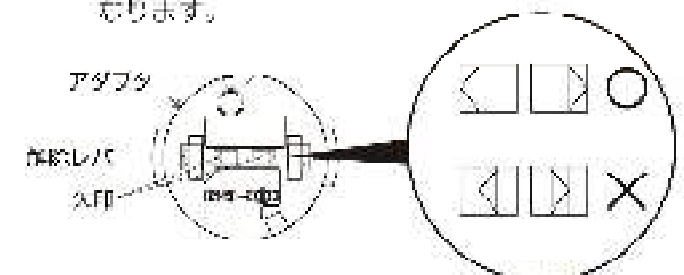
- ①本体の穴に電源コードを差し、  
②本体をアダプタに合わせて押し上げる。

※本体の中央付近を押して、確実に取付けてください。



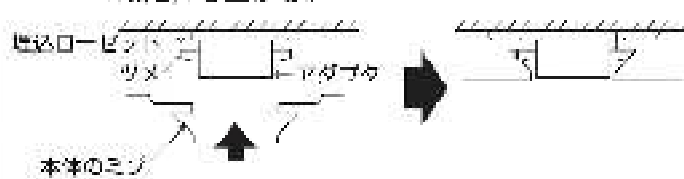
※本体の取付けは＜埋込ローゼットの場合＞、  
＜その他の配線器具の場合＞をご覧ください。

- △警告 解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



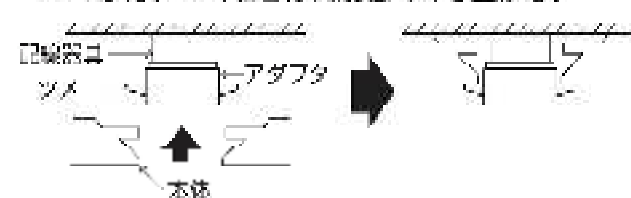
### ＜埋込ローゼットの場合＞

アダプタのツメに本体のミゾが引っかかるように1段押し上げる。



### ＜その他の配線器具の場合＞

アダプタのツメに本体が引っかかるように2段階押し上げる。  
メスがカチッと響く場合は再度強く押し上げる。

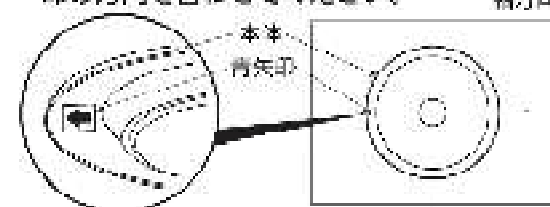


※別売の竿線天井取付アダプタをご使用の場合、1段目で固定されます。

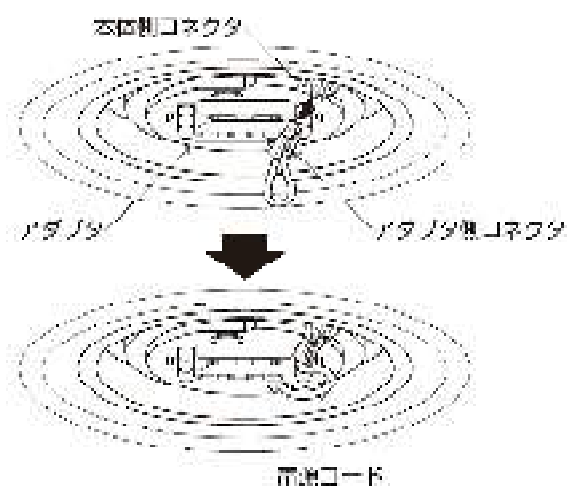
## 3 本体の方向性について

＜本体に青矢印が貼られている場合＞  
本体を取付ける際、本体の青矢印(1ヶ所)が部屋の隅の方向に向くようにして取付ける。

※扇形セードなどが部屋の方向とずれないように矢印の方向を合わせてください。

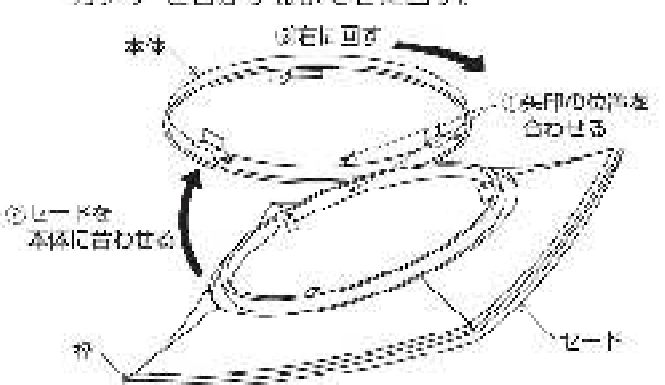


## 4 コネクタを接続する



## 5 セードを取付ける

セードを持って、セードと本体の矢印を合わせ、「カチッ」と音がするまで右に回す。



- △警告 セードが確実に取付いたことを確認してください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

## 6 点灯の確認を行なう

## ■取外手順

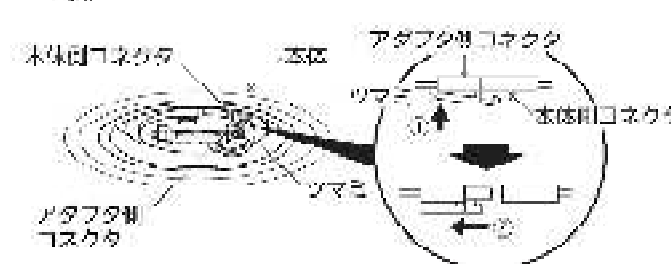
### 1 壁スイッチで電源を切る

### 2 セードを取外す

セードを「カチッ」と音がするまで左に回して取外す。

### 3 コネクタを取外す

アダプタ側コネクタのツマミを押しながら引き抜く。



### 4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを外側に押し、本体を取外す。



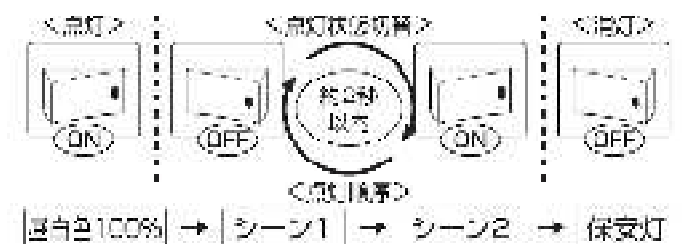
### 5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。



## ■壁スイッチで操作する (フルレス操作)

- 壁スイッチをONにすると点灯します。  
壁スイッチをOFFにし、約3秒以内にONにすると点灯状態の切り替え(フルレス操作)ができます。  
※調光(調色)操作をされた後、フルレス操作をした場合は、昼白色100%になります。  
※壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をフルレス操作することは避けてください。
- おでかけの際は壁スイッチをOFFにしてください。(壁スイッチがONの状態で一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。)
- 出荷時、シーン1は昼白色100%、シーン2は昼白色100%、保安灯は80%に設定されています。



※シーン1とシーン2は、設定した点灯状態。保安灯は、保安灯の前回点灯状態。

■リモコンで操作する ※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

## 1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機に必ず電池を入れた状態で操作してください。  
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

### 全灯切りボタン

暖白色100% → 暖白色100% → 暖白色100%  
の切り替えが可能です。

### 共色(ブルー)ボタン

白灯時の色を変更できます。冷色は暖色へ変わります。カラーリング操作での色分けの種類と二色式のON/OFFボタンと組み合わせることで色分けが可能です。

### 暖色(オレンジ)ボタン

白灯時の色を変更できます。冷色は暖色へ変わります。リモコン操作での色分けの種類と二色式のON/OFFボタンと組み合わせることで色分けが可能です。

### シーン1ボタン

設定されたシーン番号で点灯します。10段階、10段階の調光は暖白色100%に設定されています。

### シーン2ボタン

設定された暖色/暖白色で点灯します。10段階、10段階の調光は暖白色100%に設定されています。

発信部

ON/OFFボタン

照明器具の点灯、消灯の切り替えができます。

調光(ハム)ボタン

点灯時の明るさを調節できます。全光量(100%)から約10%の明るさまで調節できます。(調光範囲約90%) ※調光機能は、設置、器具状態により多少変化します。 ※リモコン操作での調光はON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

保安灯ボタン

保安灯の点灯を解除できます。点灯解除時は調光(ハム)ボタンを押すことで明るさを調節することができます。

※点灯時、保安灯の明るさは約90%に設定されています。

タイマー解除ボタン

タイマーが解除されます。

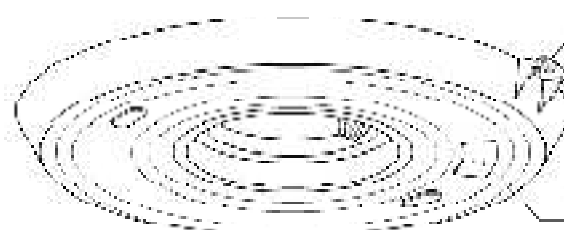
オフタイマーボタン(30min)

約30分間照明器具が点灯します。

チャンネルスイッチ

複数の照明器具が取り付けられる場合、別々のチャンネルを合わせます。

## 2 リモコン受信部のスイッチについて



チャンネル設定スイッチ

点灯時にONに設定されています。調光のON/OFFに設定されている場合がありますので、チャンネルの設定について、事前に確認ください。

リモコン受信部

## 3 チャンネルの設定について

<1台の器具のみ操作する場合>

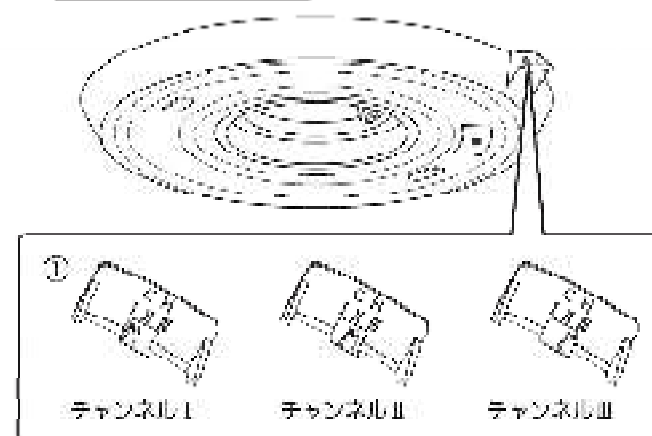
リモコン送信機のチャンネルをIにしてください。

<複数台の器具を操作する場合>

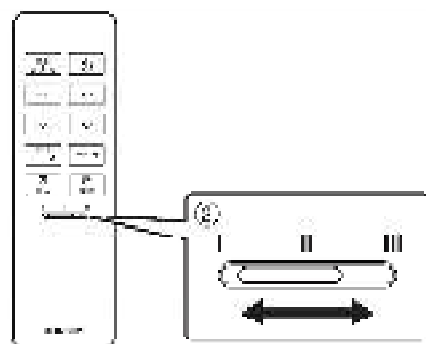
一つひとつの器具をリモコンで操作する場合には、器具のリモコン受信部側のチャンネルをそれぞれIIに設定してください。

リモコン送信機側のチャンネルを操作したい器具のチャンネルに合わせてください。

リモコン受信部側



リモコン送信機側

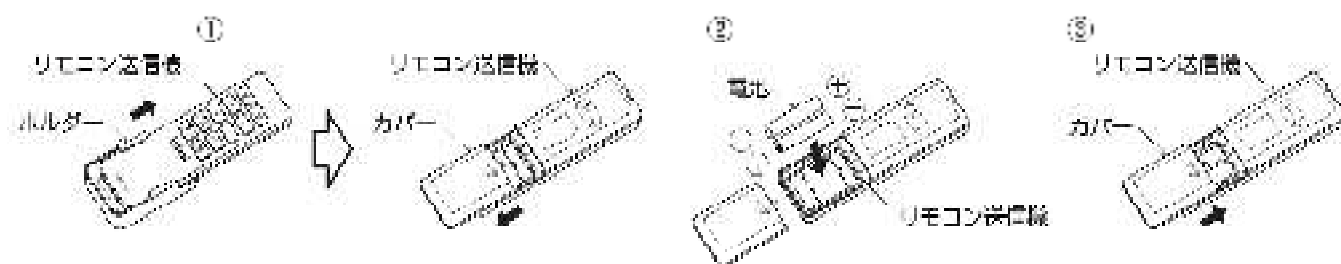


## ■リモコン送信機について

### 1 リモコン送信機に電池を入れる

①リモコン送信機をホルダーから取り出し、カバーを外す。  
②電池の極性を表示に合わせて入れる。  
③カバーを装着する。

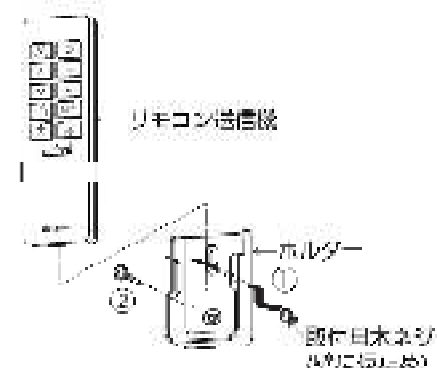
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



### 2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

①必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。  
②この取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締めすぎないようにしてください。ホルダーが破損するおそれがあります。



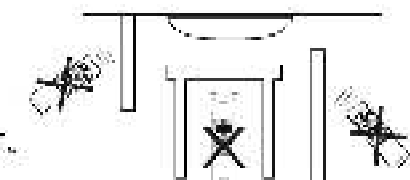
### 3 リモコン送信機を操作する

ホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。作動すると確認音が本体よりします。



### 4 使用上のご注意

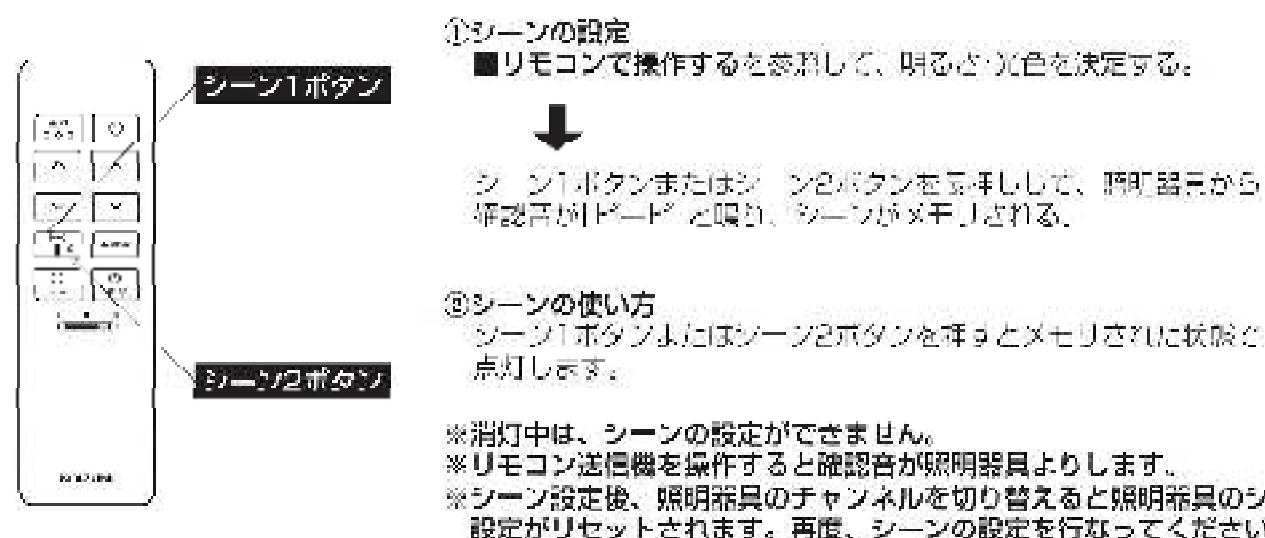
- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。リモコンテレビなどには使用できません。他の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず必ず同時に交換してください。※余剰電圧(NiCd)は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側は待機電力がかかるので、電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高く蒸るもの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべり物がある場合、作動しない場合があります。しゃべり物をさけて再度ボタンを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信機が作動しにくい場合があります。



## ■シーンの設定について

ご希望の明るさ・光色をボタンメニューで設定することが出来ます。

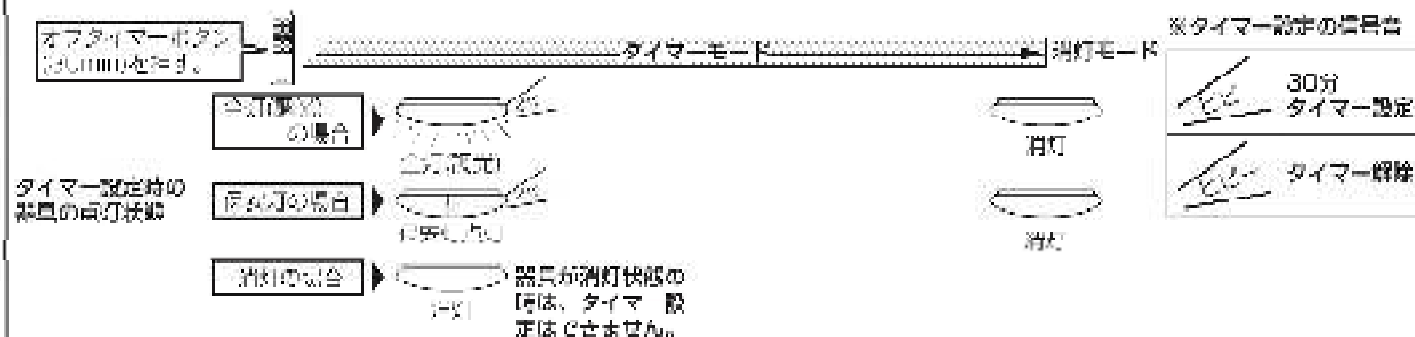
※出荷時、シーン1は主光源の調光は昼光色100%に設定されています。シーン2は主光源の調光は電球色100%に設定されています。



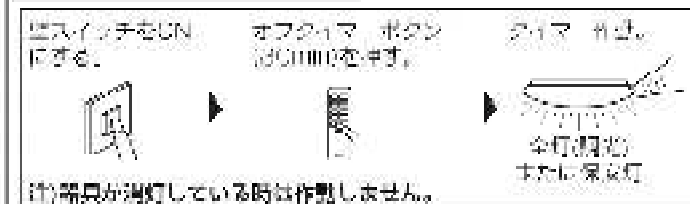
## ■タイマーの設定について

30分後に消灯します。

※オフタイマーボタン(30min)を押すと本体より確認音が「ビビ」と鳴り、タイマーが作動します。



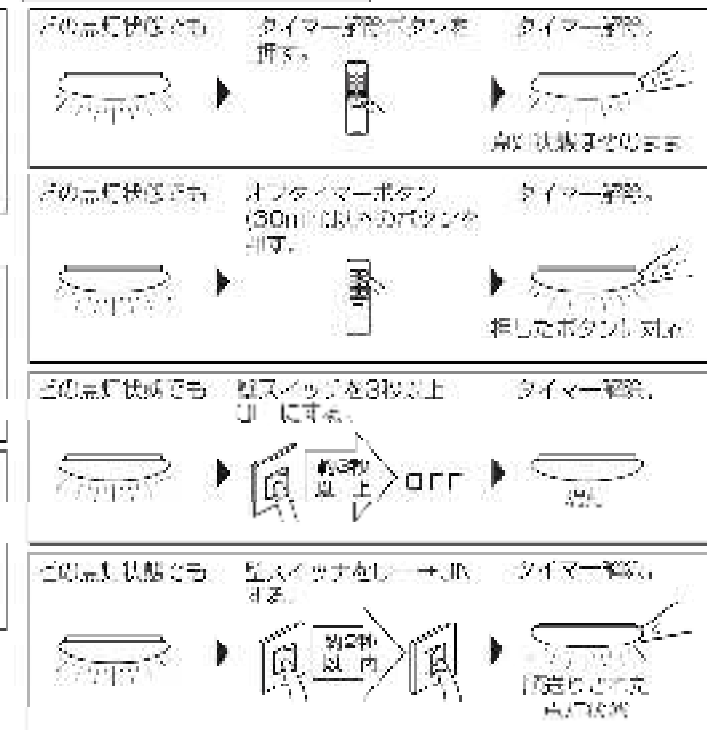
### タイマーを作動させるには



### タイマー時間の更新



### タイマーを解除させるには



# 修理を依頼される前に

処置した後にもなお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・販売店、弊社サービスセンターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現象	考えられる原因	処置
壁スイッチで照明器具を操作できない、または点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルレス操作が確実に出来ていない</li> <li>ブルレス機能が無効になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電線のON/OFF状態がわからないタイプの壁スイッチをご使用の場合、操作を確実に行なってください。(2秒以上のOFF→ON)</li> <li>照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CH III」に設定し、ON/OFFボタンを押しながらか3秒以内に全灯順送りボタンを3回押し、ブルレス機能を有効にする</li> </ul>
リモコン送信機で照明器具を操作できない、または点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁スイッチがOFFになっている</li> <li>リモコン送信機の電池の残量(%)が低減している</li> <li>リモコンの電池が切れている</li> <li>照明器具とリモコン送信機のチャンネルが合っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁スイッチをONにする</li> <li>電池を上しく入れる</li> <li>電池を交換する</li> <li>照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(説明書の■リモコンで操作するをご確認ください)</li> </ul>
勝手に点灯状態が切り替わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモモードの動作モードになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CH II」に設定し、ON/OFFボタンを押しながらか3秒以内に保安灯ボタンを3回押し、デモモードを解除する</li> </ul>
リモコン送信機で照明器具を操作した時に確認音がしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認音の消音モードになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CH II」に設定し、ON/OFFボタンを押しながらか3秒以内にシーン1ボタンを3回押し、消音モードを解除する</li> </ul>
リモコン送信機で消灯したのに照明器具が点灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコン送信機で消灯してから壁スイッチをOFF→ONにして</li> <li>消灯中に、停電が起こった可能性があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意、電線が入ると消灯する前の状態で点灯するようになっております(高出かけの際は、壁スイッチをOFFにしてください)</li> </ul>

## ■使用上のご注意

- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- 停電などでブルレス操作がはたらき、明るさが切り替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどで好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとさせていただきます。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- パイロットスイッチ(電源ON時に表示灯が点灯するタイプのスイッチ)を使用される場合は、表示灯がわずかにちらついたり、リモコンでの消灯時に微点灯することがありますが、異常ではありません。
- ライトコントロールなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントロール(調光器(別売))をご使用ください。チラツキ・表示動作の原因になります。

## ■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直射しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

## ■器具のお手入れ(※注意) 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。落電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダニニグ・ホウチンなどの汚れやすい場所には4回程度の清掃が目安です。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が好めですが中性洗剤を薄く塗って柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものを拭いたり、脱脂剤をかけたらないでください。また、弱めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が乾かないよう、よく拭き取ってください。変色・剥離の原因になります。